

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30~13:30

例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭

TEL<0762>52-2271 FAX52-2273

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL<0762>22-2525 FAX24-2882

会長：鈴木 透 幹事：坂下 直人

情報委員長：磯野 洋明

1991年6月6日 第440号

「国際交流 特に留学生の場合」

金沢大学心理学教授

多田 治夫氏



国際交流！大いに結構。

しかし現実にやって来るのは勉強では無くて、人間なんだ！と言うのが、私の切実なる今日この頃の実感です。

一人の留学生がまき越こした苦勞、経験話をしましょう。

この人はアフリカのウガンダからやって来ました。彼は全く日本語ダメ。その上少々しゃべる英語も人一倍や、こしい、と来ている。聞き方の大学教授の英語もそれに輪掛けてや、こしい。まるでや、

こし同志、お互いの意志、感情が充分に通じ合わないのも無理ありません。

真黒な顔がニューと出て、解からない英語をしゃべり出す、日が段々とたつにつれ、いやになるなど言っただって、いやになりますよ。留学生の方でも、やはり友達や先生達との暖かい交流、食べ物だってお互いに喰べ合いたい、又その為の買物だって楽しくやりたかったに違いありません。が、言葉がダメだった。

彼一人と言う孤独でさびしい、すなわち研究室と下宿との往復の間だけが彼の世界でしたから、とうとう精神失疾を起こし一種の被害妄想に落ち込んだのです。下宿でも大学でもすったもんだの末、県立高松病院に一時入院、後で本国帰国の処置をしたんですが、まあその間には、留学生センター、留学生カウンセラー、又大学教授達は勿論、学部長、学長、その上県警本部長さん迄まき込んだと言う大変な大仕事だったわけです。

しかし、そんな人！ばかりではありません。

大体に於て、留学生諸君はみな優秀です。まあ初めの2年位、ちょっとオタオタしますが、後2年、卒業近くになるにつれ、極めて優秀です。彼らが本国に帰ると、驚くべき高い社会的地位に着くエリート達が多いのです。決して決して、例えば東南アジア系であるとか、英語があまりうまくないとか、顔や身体の色がどうか、喰べ物が変だなんて言う差別や、偏見をもつ必要は、こればかりもありません。

どうも、年齢的にみて4・50才以上の御老体にそんなとらわれ人が多い様ですな、今の現代の若者達には、偏見なんかと言う身びいきなんかありません。

今後も多くの留学生達が、どんどんとやってくるでしょう。どうぞ人のもつ外側の条件なんかで、その人を測るのではなく、同じ人間レベルで、同等のツキアイをしたいもんです。そりゃ時には阿呆も気違いも来ますよ、いいじゃないですか、人間ですもの。

—金沢北RC例会講話より— (文責 長谷川壘人)

私 の 名 刺

橋 本 和 雄



この度、伝統ある「金沢北ロータリークラブ」のメンバーに加入させていただき、大変光栄に思っておりますと共に、身の引締まる感激で一杯でございます。

若輩にて、未熟な私ですが、諸先輩会員が築かれました伝統を汚すことなく日々努力いたす所存です。

私の職業は建設業でありまして、特にコンクリート、鉄骨造を主体としての一般建築を手掛けております。図面に引かれた線をたよりに、形を造りあげる、出来あがった作品（建物）が長く残っていく喜びがあります。

仕事を受注、完成するまでには色々な過程を得てなるものです。受注いただいたどんな仕事もその過程を大切に、御施主様から信頼される、誠意ある仕事をする様心掛けています。

さて、昨年12月我社社長勝田誠一氏（金沢北ロータリークラブ会員）死去に伴い新社長として会社を引継ぎましたが、毎日が勉強勉強、私の想像以上の激務で多事多難ですが、早く社長業にもなれ社員からも安心信頼される様にと努力いたしております。

我社も今年6月会社創立40周年を向えますが、人間にとりましては人生の折り返し、会社にとっては一つの区切りの年でしかないかもしれませんが、40年の歴史と先人達の汗と努力で築きあげた伝統の重みを大切に、これから先50年、60年……100年を目指して頑張っていく覚悟です。

当クラブを通して、これから先多くの異業種の方々と接しながら、会話が出来、又聞ける事が私のこれから先の人生にとって大きな収穫として、生かしていきたいと思っています。

これからは自己修練の場として、ロータリアンの名に恥じない様頑張りますので、皆様方のご指導、ご鞭撻をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。



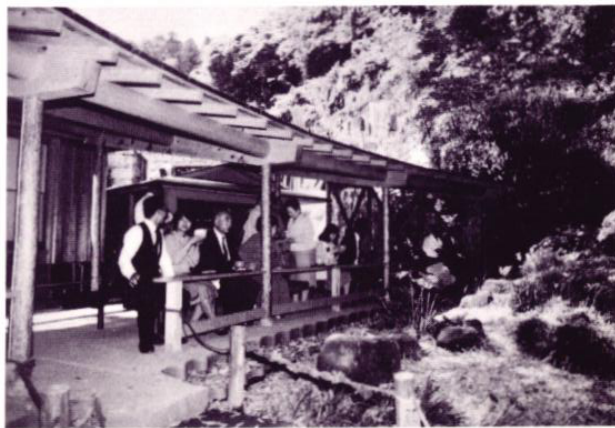
吉田富士夫会員画

相模原南RC20周年記念式典の記

幹事 坂下 直人

友好クラブ相模原南RC創立20周年記念式典及び祝賀会が5月10日午後6時より、千寿閣に於て相模原市長初め多くのロータリアンの出席のもと盛大に挙行されました。当クラブからも会長御夫妻初め20名で出席して祝意を表し友好の輪を広げて来ました。遠く函館五稜郭RCからも出席されて居り、共に祝盃を上げて来ました。おごそかな式典の後、なごやかな祝賀の宴に入り、林会長、古木幹事初め会員の皆様の熱気あふれる記念例会となりました。当幹事としても友好の輪も大切ながら当クラブの20周年が3年後にせまって居り、一人でも多くの相模原南RCの友人に来沢されたくお願いもして来ました。

翌11日の鎌倉観光には八木親睦委員長初め、5名の南の友人がバスに同乗し、御案内下され恐縮しました。特にパスト分区分代理の黒河内様の肝煎でバスを戻して御案内下さった報国寺の竹庭のすばらしさに一同声無し、往時より宅間法眼一派の芸術家達の住んだ谷間とか、竹間に筍の出ずる時にめぐり会えたのも幸でした。ふわりと目の前へ舞い降りた小鳥のまかれた菓子をついばむ姿や一碗のお茶が旅のつかれをいやしてくれました。寺の由来記に「あなたがここへお尋ね下さった為に竹の庭がより美しくあります様に」合掌。と記してありました。コスターRI会長の強調事項「われらの天体地球の保全」をあらためて考えさせられた一日でもありました。竹庭の緑よいつまでもと祈りつつ。



第261地区 ライラに出席して

幹事 坂下 直人

「RYLA(ライラ)について」

R Rotary=ロータリー **Y** Youth=青少年 **L** Leadership=指導者 **A** Awards=養成プログラム
RYLAは1971年RIにより、国際ロータリーの青少年活動プログラムの中に採択されたもので、地区全体にわたり、若い人々とロータリアンを参加させる地区的な計画であり、このプロジェクトは世界各地でさまざまなやり方で行われております。指導者キャンプやロータリーと学生の懇談会などという形式で行われている国もありますが、そのやり方の主流をなすものは「ロータリー青少年指導者養成のセミナー」であります。

RYLAの目的

若い人と一緒になって働くロータリアン、そしてロータリーを理解して貰う。青少年指導者の素質を持つ若い人に訓練と経験をつませ、その資質の向上を計り、より良きリーダーとなって貰う。若い人とロータリアンが起居を共にして親睦を計り、広く知己を得る。

ライラセミナー

ロータリーの青少年奉仕活動がともすれば形式に流れ、ロータリアンと若者との心の触れ合いの少ない事がその活動を停滞、後退させる。その意味で静かな環境で青少年とロータリアンが2泊3日(RIは1週間を推奨している)の起居を共に思索し討議し、膝を割っての心の触れ合いをはかる。これがライラセミナーの一番重要な目的である。そしてセミナーに参加した青少年男女は広い範囲の教養とリーダーシップを身につけるのである。

以上の目的で4月27日～29日の3日間「群れをなして羽ばたこう」のターゲットのもと285名の登録で、医王山麓「ふれあいの里」で盛大に開催されました。ホストクラブ金沢西RCで、会長初め会員の英智を結集した盛沢山のプログラムが順次つつがなくこなされて行きました。

3日間は大変だとも思いましたが、出席してさわやかな日々をすごすことが出来ました。元南極観測隊越冬隊長鳥居鉄也氏初め五氏の多岐にわたる講演は貴重な感銘をあたえ、かつ人生のすばらしさを学んだセミナーでした。話を聞くのみではすばらしい話であろうと時間と共につい忘れがちになってしまいます。聞いた話について、即グループ別にディスカッションさせて内容をしっかり把握させる方法は実に良い手段だと思いました。

キャンプファイヤー、バーベキュー大会、スコアオリエンテーリング、綱引き大会、等々見事な組合せで青年達の目も生き生きとして居りました。当幹事もスコアオリエンテーリングに参加し会員の部で2位となり、賞をいただき、当クラブのジョン君も特別参加で高得点をあげて居りました。又クラブの若い会員も多く出席してもらえたらと思う3日間でもありました。



最後に青年の一言「上役に行けと言われて大事な休日をつぶしてまでもと思いつつ出席しましたが、自分の人生の中でのすばらしい体験の一つとなった。来年もチャンスがあれば出席したい」青年ははにかみながらもキトキトの顔でいいました。

次年度理事・役員名簿 《1991.7～1992.6》

12月13日、クラブ年次総会にて選任。

会 長	中 村 三 次	社会奉仕(理事)	高 岡 昇
会長エレクト(理事)	吉 田 富士夫	国際奉仕(理事)	松 本 範 夫
副 会 長(理事)	飯 野 健 志	職業奉仕(理事)	渡 邊 聰
幹 事	木 村 丹 二	例 会(理事)	松 田 忠 秋
副 幹 事(理事)	磯 野 洋 明	会 員 選 考(理事)	塩 村 喜代次
会 計(理事)	坂 下 直 人	企 画(理事)	吉 崎 英 治
会 場 監 督(理事)	松 田 忠 秋	情 報(理事)	長谷川 塑 人
直前会長(理事)	鈴 木 透	親 睦(理事)	東 川 明
		修 練(理事)	土 原 一 二
		友 好(理事)	卯 野 正 博
		地 域 開 発(理事)	山 岸 与 作
		理 事	柴 田 三 郎
		理 事	越 野 民 男
		理 事	大 村 精 二

次年度委員会名簿 《1991.7～1992.6》

委 員 会	内 容	委 員 長	副委員長	委 員 員
社会奉仕	青少年・都市安全・自然保護 資源愛護・ロータリー梅林 その他社会奉仕全般	高 岡	奥 田	佃 中谷 滝 木下 合田 広岡 長原
国際奉仕	ロータリー財団・米山記念奨学会 世界社会奉仕・交換学生	松 本	米 沢 (真)	関 市川 大村 米永 山本(幸)
職業奉仕	職業倫理の向上・従業員対策 四つのテスト・ロータリアンの信条	渡 邊	佐 藤	小杉(善) 岡田(進) 大門 梅原 二塚 橋本
例 会	出席・ニコニコ・会場監督	松 田	畔 柳	俵 山本(麒) 駒栄 藤川
会員選考	会員選考・会員増強・職業分類	塩 村	木 島	若野 浅田 吉岡 本江
企 画	プログラム・講話・クラブ細則	吉 崎	橋 田	清水 高島 安宅 越野 島
情 報	会報・広報・雑誌 クラブ歴史・記録保存	長谷川	辻	桜井 米澤(修) 坪田 山本(章)
親 睦	会員の親睦・家族の親睦 スポンサークラブとの親睦	東 川	大 沢	越田 岩倉 乙村 銭亀 小杉(守) 小林 近藤
修 練	ロータリー情報・ターゲット ロータリー文献	土 原	大 場	沢田 柴田 中村(省)
友 好	他クラブとの友好提携	卯 野	玉 田	小間井 魚住 石丸 浅野 坂口 深澤
地域開発	城北地区開発促進同盟	山 岸	本 岡	岡田(林) 上田 二木 早稲田 増江

